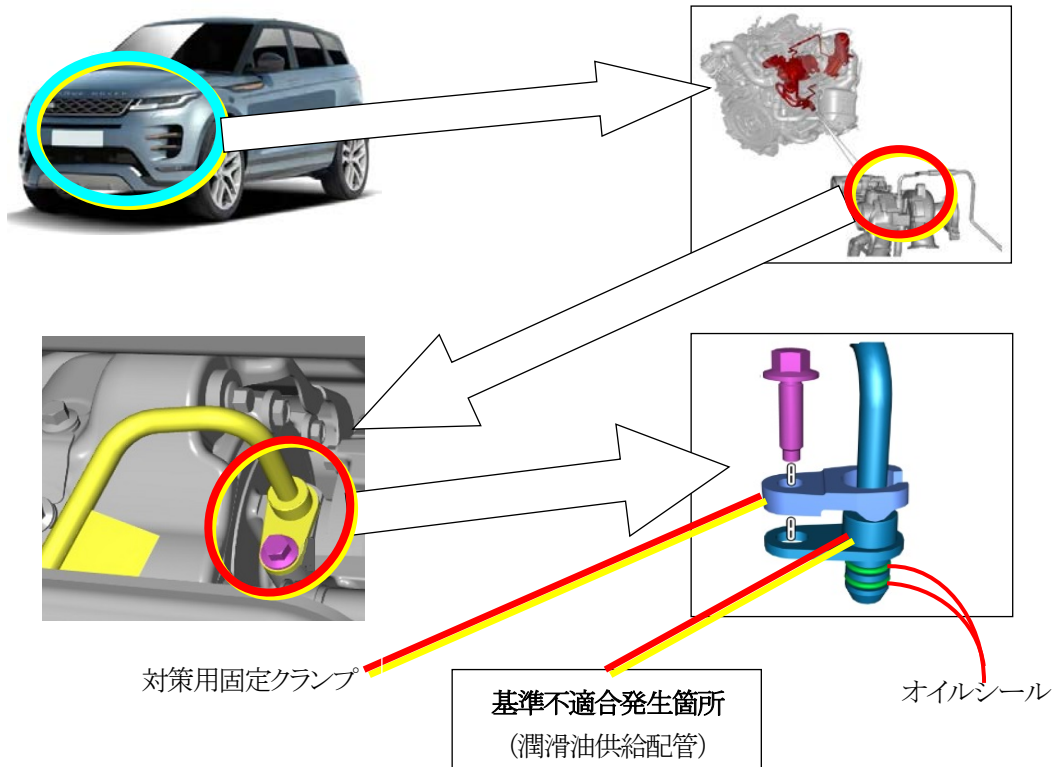


改善箇所説明図



注： は、修理部分を示す。

基準不適合発生箇所

ターボチャージャーの潤滑油供給配管において、固定方法が不適切なため、使用過程で急発進や急加速した際に当該配管内の油圧が高くなりオイルシールに応力が集中することがある。そのため、オイルシールが劣化し潤滑油が漏れ、最悪の場合、潤滑油が排気系高温部に飛散する事により火災になるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該潤滑油供給配管に対策用固定クランプを追加すると共にオイルシールを交換する。

識別：左下エンジンカバー取付クリップに銀ペイントを塗布する。